

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業423社を対象に実施し、323社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成20年10月～12月の実績、平成21年1月～3月の見込み、平成21年4月～5月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成20年12月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	156□	78.4%□
非 製 造 業	224□	167□	74.6%□
計	423	323	46.4%

日銀が2月13日に公表した、北陸の金融経済月報（2009年2月）によると、北陸の景気は、海外経済の減速などから、大幅に悪化している。

最終需要をみると、輸出、設備投資は、ともに減少幅が拡大している。また、個人消費は雇用・所得環境が一段と厳しさを増している中で、広範に弱まっているほか、住宅投資も減少が続いている。この間、公共投資は低調に推移している。

当地製造業の生産は、大幅に減少している。企業収益は、海外経済の減速などを受けて減益幅が拡大している。こうしたなか、雇用所得は、一段と厳しさを増している。

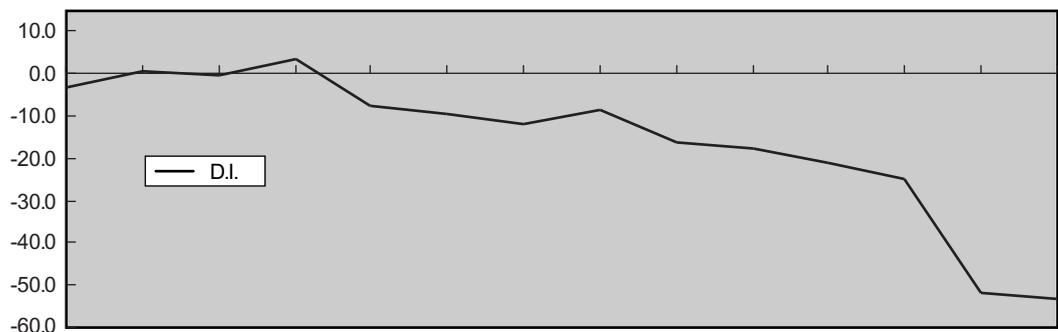
先行きについては、当面、悪化を続ける可能性が高い。と現在の厳しい状況を発表している。□

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

種別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良 い	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	12.9	8.4	9.4	3.4	2.8
普 通	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	56.6	62.2	56.3	41.4	41.1
悪 い	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	30.5	29.4	34.4	55.2	56.1
D . I .	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-17.6	-21.0	-25.0	-51.7	-53.3

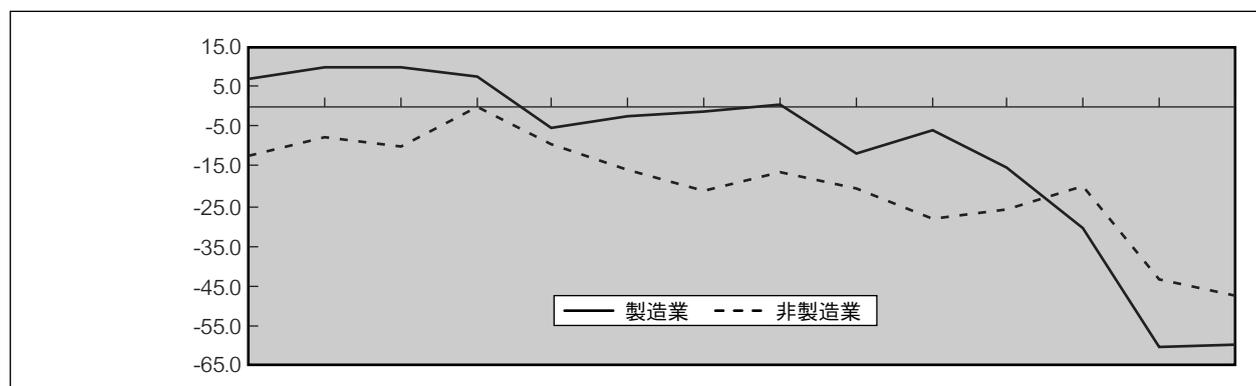


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		18 年				19 年				20 年				21年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
		良	い	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	16.3	10.2	8.4
普	通	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	61.2	64.1	52.6	35.7	35.1
悪	い	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.5	25.7	39.0	62.3	62.3
D . I .		6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-6.2	-15.6	-30.5	-60.4	-59.7

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		18 年				19 年				20 年				21年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
		良	い	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	9.7	6.7	10.2
普	通	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	52.2	60.6	59.6	46.7	46.7
悪	い	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	38.2	32.8	30.1	48.5	50.3
D . I .		-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-28.5	-26.1	-19.9	-43.6	-47.3



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の20年10～12月期実績は▲25.0と前期比4.0ポイント悪化した。

先行きについて、21年1～3月期のD.I.は、更に悪化見込の▲51.7となっている。21年4月～6月の予想でも、D.I.は▲53.3と改善は見られない回答であった。

(2) 業況判断指数D.I.の20年10～12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より14.9ポイント悪化している。先行きは大幅悪化の回答となった。非製造業については、今期はやや改善となるが、マイナスポイントで推移している。

先行きに対して、21年1～3月は▲43.6と23.7ポイント悪化予想となっており、4～6月も悪化予測の回答となった。□

## II. 売上高状況

### 売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	35.0	35.0	33.8	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	30.1	26.5	26.0	18.5	7.2	9.7
横ばい	40.9	44.3	44.4	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	39.2	41.2	40.9	35.4	31.7	32.6
減少	24.1	20.8	21.8	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	30.7	31.6	33.1	46.1	61.1	57.7
D. I.	10.9	14.2	11.9	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-0.5	-5.7	-7.1	-27.6	-53.9	-48.0

### 売上高状況（うち製造業のみ）

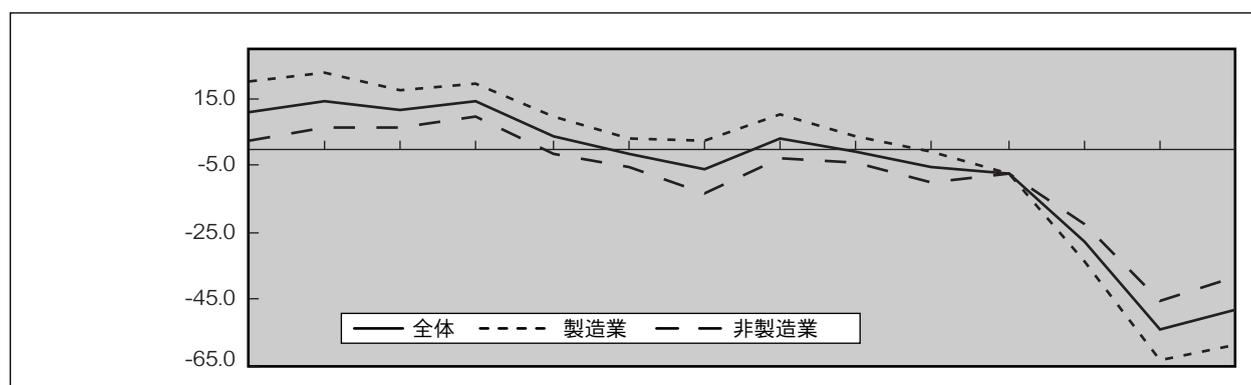
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	41.4	39.2	38.0	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	34.0	30.6	28.6	17.1	5.9	8.6
横ばい	37.4	44.5	41.7	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	3.5	37.8	35.7	32.2	25.0	24.3
減少	21.2	16.2	20.3	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	30.4	31.7	35.7	50.7	69.1	67.1
D. I.	20.2	23.0	17.7	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	3.5	-1.1	-7.1	-33.6	-63.2	-58.6

### 売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	29.1	31.2	29.8	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	26.8	22.8	23.6	19.8	8.4	10.8
横ばい	44.1	44.0	46.9	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	42.3	44.4	45.6	38.3	37.7	40.1
減少	26.8	24.8	23.2	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	30.9	32.8	30.8	41.9	53.9	49.1
D. I.	2.3	6.4	6.6	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-4.1	-10.1	-7.1	-22.2	-45.5	-38.3



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。全産業の20年売上高状況D.I.は、每期調査毎に悪化し最低D.I.となった。今回調査では、▲27.6と前期より20.5ポイント悪化した結果となった。先行きについては、大幅な悪化予想となっている。21年1～3月期は▲53.9、4～6月期は▲48.0と高いマイナスポイントが続いている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けても両方とも悪化傾向となっている。製造業は前期比26.5ポイント悪化、先行きのD.I.は今までの最低ポイントを予想している。非製造業のD.I.も、前期より悪化となり、21年1～3月期も悪化見込の回答となった。非製造業も製造業同様に先行きは更に悪化を予想している。

### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

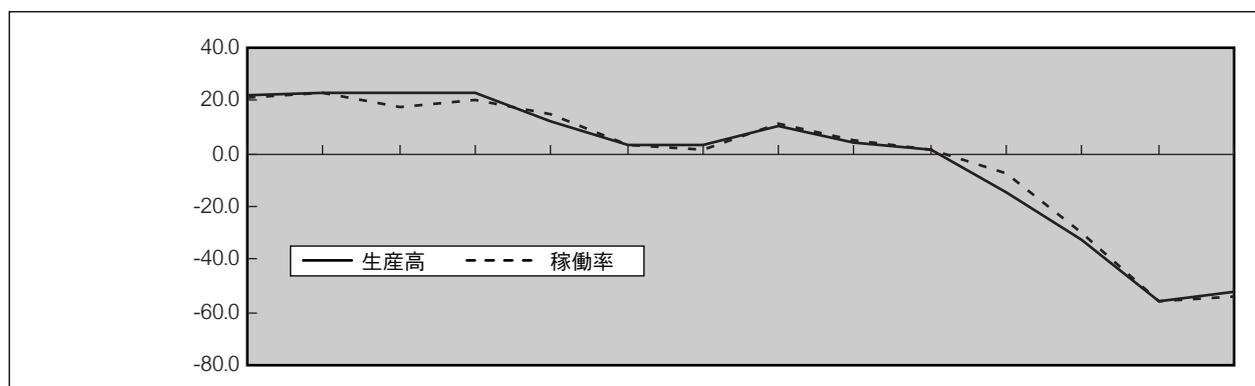
(%) 見込 予測

期別 種別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
20%以上増加	11.7	7.6	10.7	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.4	5.9	1.8	1.9	1.9	1.3
20%未満増加	28.1	32.1	28.3	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	28.8	24.1	21.2	14.6	5.7	8.3
横ばい状況	42.9	44.0	44.9	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	38.1	41.2	39.4	34.8	29.3	28.7
20%未満減少	16.8	13.6	14.4	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	25.6	26.5	30.3	35.4	40.8	36.9
20%以上減少	0.5	2.7	1.6	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	3.1	2.4	7.3	13.3	22.3	24.8
D . I .	22.4	23.4	23.0	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	4.4	1.2	-14.5	-32.3	-55.4	-52.2

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年				19 年				20 年				21年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
上 昇	12.0	8.2	9.3	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	4.6	7.2	2.6	1.9	1.9	1.3
やや上昇	27.2	28.4	25.1	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	27.8	21.7	19.9	13.5	5.2	7.1
横ばい	42.9	49.7	49.2	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	40.4	43.4	47.4	39.1	29.7	29.0
やや下降	15.2	11.5	15.8	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	23.8	25.3	24.4	30.1	39.4	38.1
下 降	2.6	2.2	0.5	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	3.3	2.4	5.8	15.4	23.9	24.5
D . I .	21.5	23.0	18.0	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	5.3	1.2	-7.7	-30.1	-56.1	-54.2



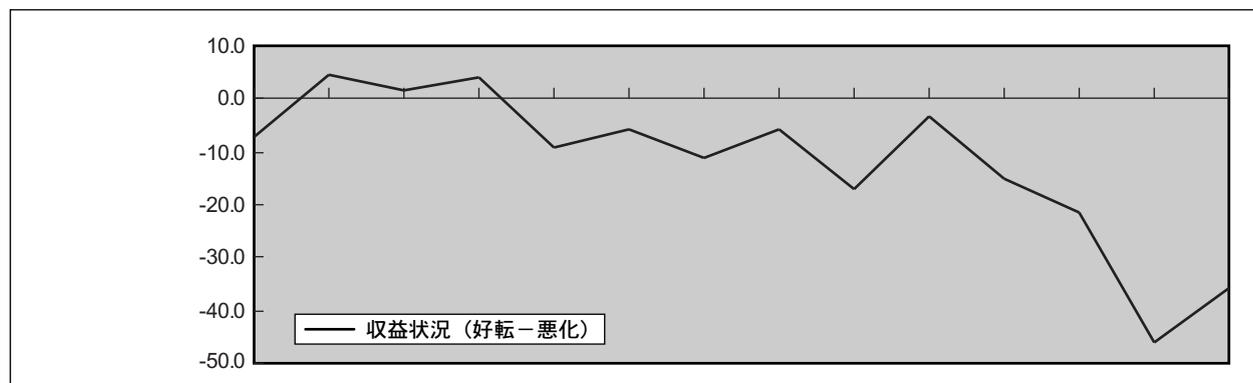
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.「増加－減少」は、7～9月期よりマイナスポイントとなり今期は▲32.3と平成14年1～3月期▲38.0以来過去最低ポイントとなっている。先行きについては、更に悪化する予想となっている。
- (2) 稼働率状況D.I.も、平成13年10～12月期▲31.7以来最低のポイントとなった。前期比▲22.4ポイント悪化し、D.I.は▲30.1となった。先行きについても21年1～3月期は▲56.1、4～6月期は▲54.2と悪化を予想している。現在の経済情勢より、生産調整等を行っている企業も増加していると考えられる。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
好転	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	12.7	12.7	5.3	10.6
横ばい	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	59.5	52.8	43.2	43.0
悪化	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	27.7	34.5	51.6	46.4
D.I.	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-15.0	-21.7	-46.3	-35.8



好転理由

(%) 見込 予測

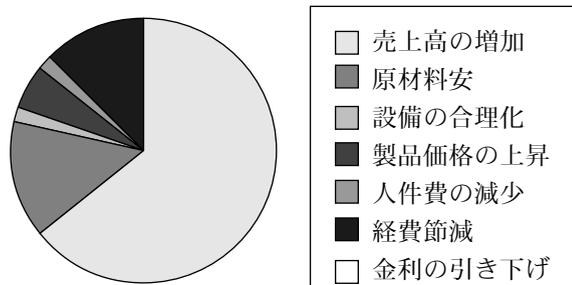
期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
売上高の増加	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	65.1	64.3	46.4	60.0
原材料安	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	4.8	14.3	28.6	20.0
設備の合理化	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	1.8	10.7	6.7
製品価格の上昇	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	11.1	5.4	0.0	0.0
人件費の減少	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	3.2	1.8	3.6	4.4
経費節減	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	12.7	12.5	10.7	8.9
金利の引き下げ	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0

悪化理由

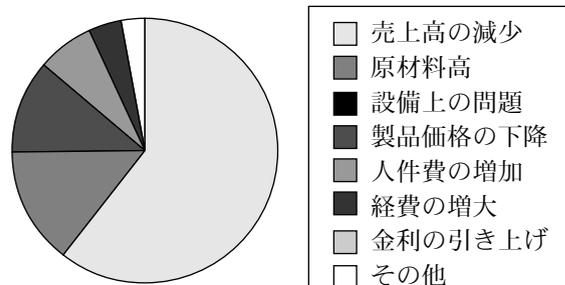
(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
売上高の減少	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	43.3	60.6	63.7	60.9
原材料高	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	30.4	14.3	12.0	12.0
設備上の問題	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.4	0.0
製品価格の下降	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	8.2	11.4	12.8	12.9
経費の増大	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	9.4	6.9	4.7	6.4
人件費の増加	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	4.1	4.0	3.4	5.2
金利の引き上げ	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	0.6	0.0	0.4	0.4
その他	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	2.3	2.9	2.6	2.1

### 好転理由



### 悪化理由

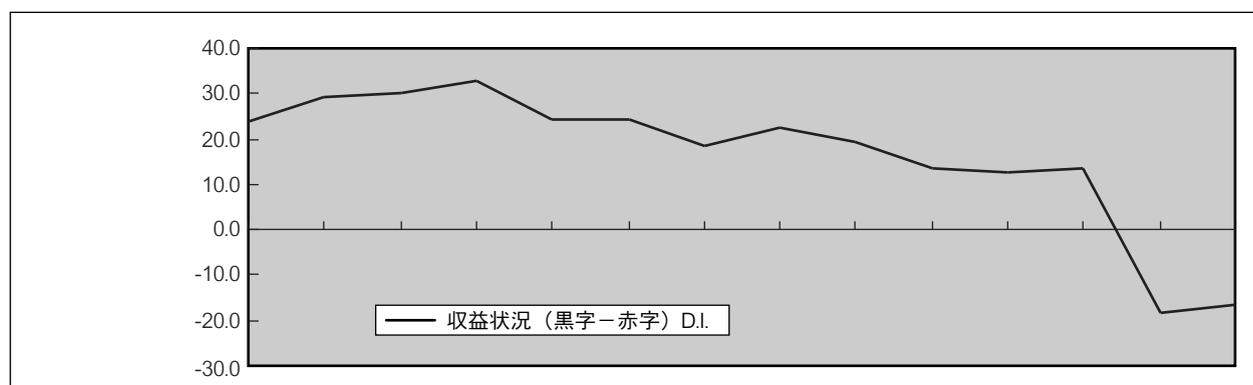


- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲21.7と前期比6.7ポイント悪化した。悪化ポイントは増加しており、先行きについても更に悪化する回答となっている。21年1～3月期では、▲46.3と大幅に悪化予測の回答となった。
- (2) 今期収益が好転したとの回答からの好転理由は、「売上高の増加」「原材料安」「経費削減」の順となっている。「原材料安」の回答は前期比やや増加している。
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」「原材料高」「製品価格の下降」が高いポイントとなった。「売上高の減少」は前期比17.3ポイント増加。「原材料高」は16.1ポイント減少しているが、高いポイントとなっている。「製品価格の下降」のポイントは増加している。

### 収益状況（黒字－償却後赤字）

(%) 見込 予測

種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
黒字	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.3	36.6	17.7	15.5
収支トントン	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	44.1	40.4	46.4	52.5
償却後赤字	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	21.6	23.0	36.0	32.0
D.I.	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	12.7	13.6	-18.3	-16.5



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、1～3月期より低下してきていたが、10～12月期は前期比やや改善した回答となっている。しかし、先行きの21年1～3月期D.I.は▲18.3、4～6月期D.I.は▲16.5とマイナスポイントへ大幅悪化の回答となっている。先行きの回答には、黒字との回答は減少しているが、収支トントンとの回答も増加している。今後の収益確保が厳しい様子が見られる回答となっている。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
不足	3.2	3.6	3.9	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.7	2.7	3.3	1.5	0.7	0.7
適正	86.0	83.8	85.5	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.3	86.2	85.1	86.0	81.9	84.8
過剰	10.8	12.6	10.6	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.9	11.1	11.6	12.5	17.3	14.4
D.I.	-7.6	-9.0	-6.6	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-10.2	-8.4	-8.3	-11.1	-16.6	-13.7

製品在庫水準（うち製造業のみ）

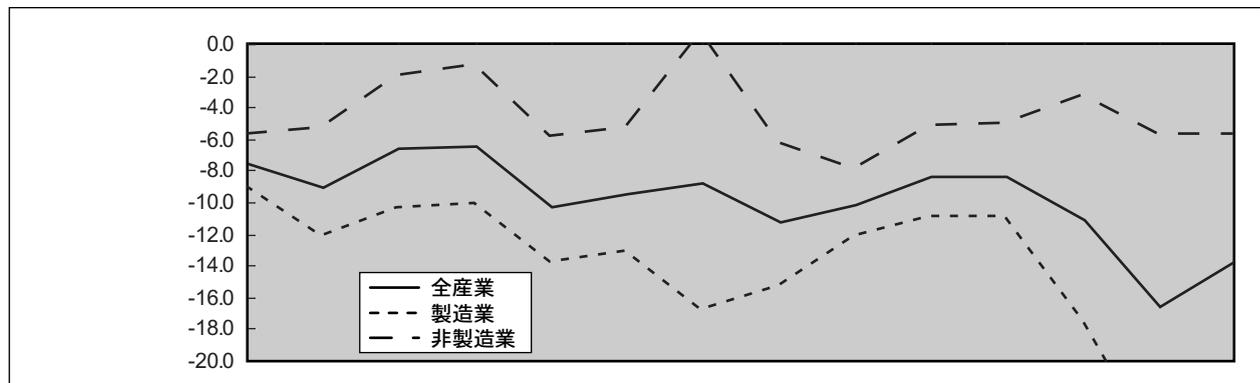
(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
不足	4.3	3.9	3.3	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.3	1.2	2.6	1.4	0.0	0.0
適正	82.3	80.1	83.0	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	85.3	86.6	84.0	79.7	74.3	79.6
過剰	13.4	16.0	13.7	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	13.5	12.2	13.5	18.9	25.7	20.4
D.I.	-9.1	-12.2	-10.4	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-12.2	-11.0	-10.9	-17.6	-25.7	-20.4

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
不足	1.9	3.3	4.7	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.2	4.5	4.2	1.6	1.6	1.6
適正	90.4	88.2	88.6	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	87.6	85.8	86.7	93.5	91.1	91.1
過剰	7.7	8.6	6.7	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	10.2	9.7	9.2	4.9	7.3	7.3
D.I.	-5.8	-5.3	-2.0	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-8.0	-5.2	-5.0	-3.3	-5.7	-5.7



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、20年10～12月期は▲11.1となり、前期比やや過剰となっている。先行きについても、過剰感は増加見込となり、在庫は増加傾向にあるとうかがわれる。業種別では、製造業が過剰感が高い回答となっている。
- (2) 20年10～12月期、業種別では、不動産、機械工業、電子部品製造、高岡銅器が過剰感が高い回答となっている。先行きについても同様の業種が在庫水準の過剰感を解消できない回答となっている。□

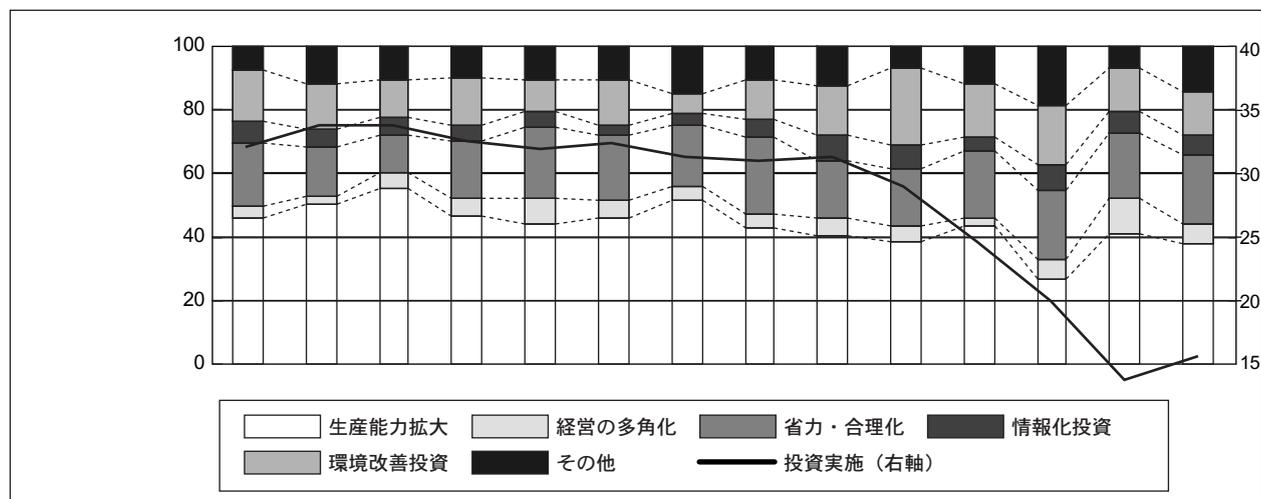
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	（%）													
	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
投資実施	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	24.4	19.8	13.6	15.5
投資せず	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	75.6	80.2	86.4	84.5

設備投資の目的（実施先について）

目的	（%）													
	18年	19年	20年	21年										
生産能力拡大	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	43.5	26.6	40.9	38.0
経営の多角化	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	2.4	6.3	11.4	6.0
省力・合理化	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	21.2	21.9	20.5	22.0
情報化投資	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.7	7.8	6.8	6.0
環境改善投資	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	16.5	18.8	13.6	14.0
その他	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	11.8	18.8	6.8	14.0



- (1) 20年10～12月に設備投資を実施した企業は全産業の19.8%であった。実施企業は減少している。先行きについても、減少見込であり、21年1～3月は13.5%と大幅減少する見込である。製造業では25.0%、非製造業15.0%が設備投資を行っている。

20年10～12月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が26.6%次に省力・合理化が21.9%と高いポイントとなった。環境改善を目的とする投資も増加している。

- (2) 先行き設備投資を予定している企業は、調査以来最低となっている。設備投資の目的は、生産能力の拡大が増加見込であり、省力・合理化も高くなっている。

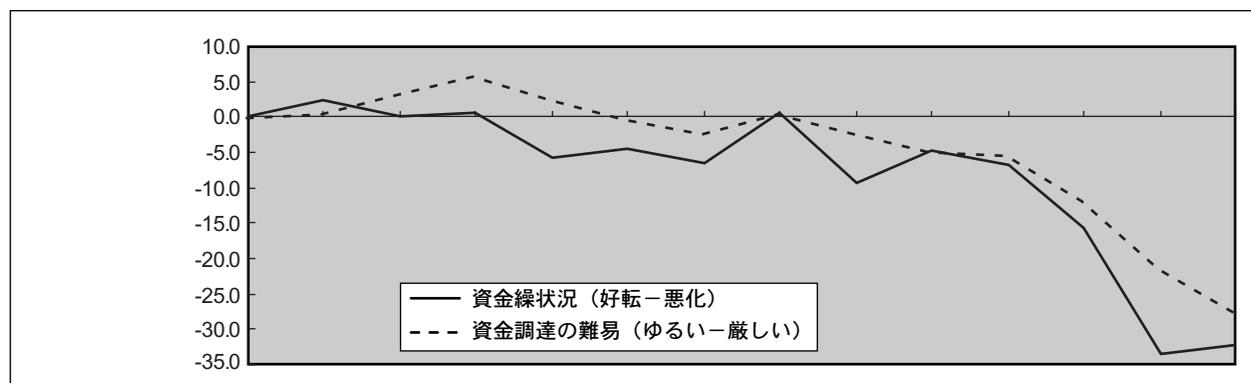
20年10～12月期において設備投資実施企業の割合が高かった業種は、電子部品製造、運送業、繊維であった。先行きでは医薬品製造、窯業土石が設備投資を予定している。電子部品製造は、先行きでも設備投資を予定しているポイントは高い。

## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
好転	11.0	10.8	9.2	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	7.4	8.5	6.0	4.4	1.6	3.1
変わらず	77.9	80.9	81.9	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	76.0	78.4	81.0	75.5	63.4	61.6
悪化	11.0	8.3	8.9	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	16.7	13.2	12.9	20.1	35.0	35.3
D.I.	0.0	2.5	0.2	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-9.3	-4.7	-6.9	-15.7	-33.4	-32.2



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

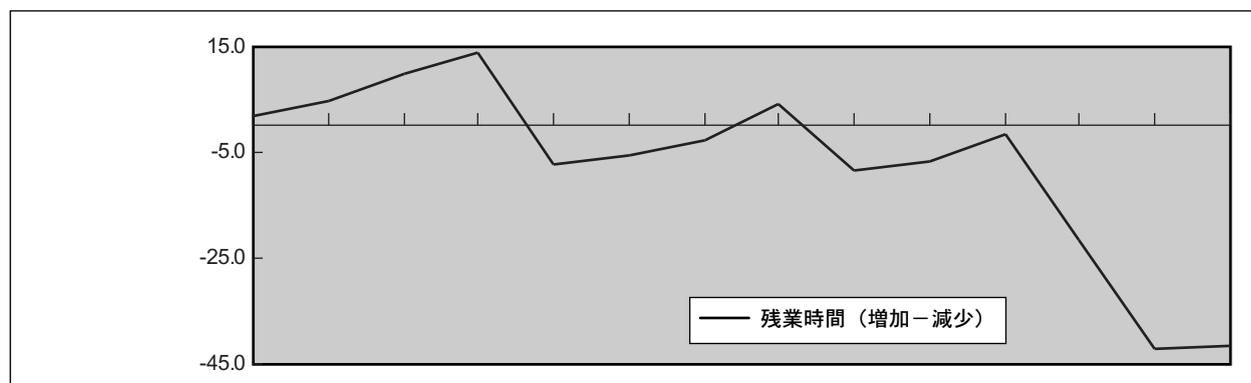
期別 種別	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
ゆるい	12.2	11.5	13.2	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	12.2	7.9	7.5	5.9	4.1	2.8
厳しくない	75.1	77.3	76.3	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	72.8	79.0	79.3	75.9	69.9	66.4
厳しい	12.7	11.2	10.4	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.0	13.1	13.2	18.1	26.0	30.8
D.I.	-0.5	0.2	2.8	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-2.8	-5.2	-5.7	-12.2	-21.9	-28.0

- 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は20年1～12月は▲15.7となり、マイナスポイントは前期比2倍となっている。先行きについては、更に悪化見込となっている。資金繰りに苦慮している企業が増加している様子がうかがわれる。□
- また、資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」においても、今回調査からマイナスポイントが2桁台となり、先行きについても更に悪化傾向となっている。資金調達が厳しい状況がうかがわれる。業種別では、不動産、繊維、宿泊業の順でマイナスD.I.が高くなっている。

## Ⅷ. 労務事情

### 残業時間

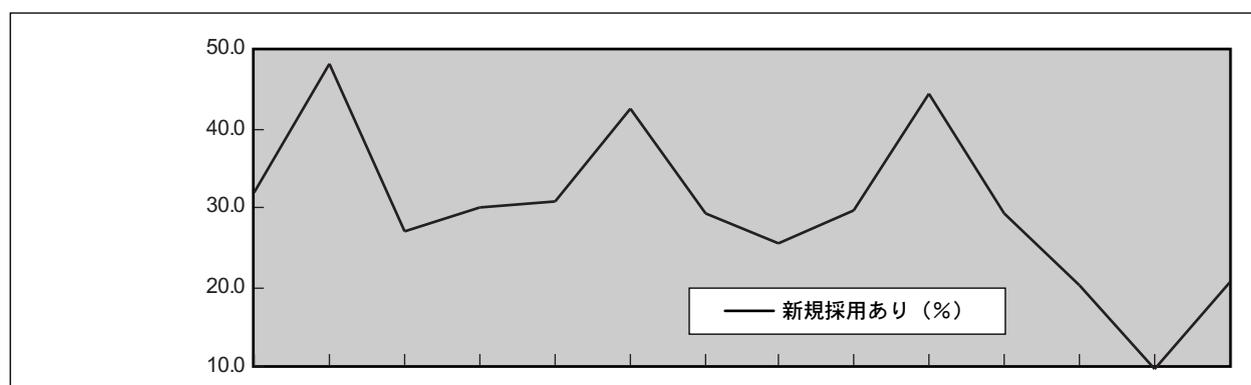
		(%)												見込	予測
種別	期別	18年				19年				20年				21年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加		19.5	19.4	17.2	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	14.3	12.4	17.6	10.0	3.0	2.4
横ばい		63.1	66.2	75.3	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	63.1	68.4	63.4	58.5	52.0	53.5
減少		17.4	14.4	7.5	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	22.5	19.2	19.0	31.6	45.0	44.1
D.I.		2.0	5.0	9.6	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-8.2	-6.8	-1.4	-21.6	-41.9	-41.8



- (1) 残業時間（増加－減少）D.I.20年10～12月期D.I.は▲21.6となり、前期比20.2ポイント減少と回答された企業が増加した。先行きについても、減少とするポイントが高く、残業時間は減少する見込となっている。生産高・稼働率の減少しており、比例した結果となっている。

### 新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測
種別	期別	18年				19年				20年				21年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
全産業		32.0	48.2	26.9	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	29.7	44.5	29.3	20.1	9.6	20.5
(うち製造業)		35.5	44.5	25.9	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	30.9	43.2	30.6	18.0	8.1	20.9
(うち非製造業)		28.7	51.5	27.8	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	28.7	45.7	28.1	22.0	11.0	20.1

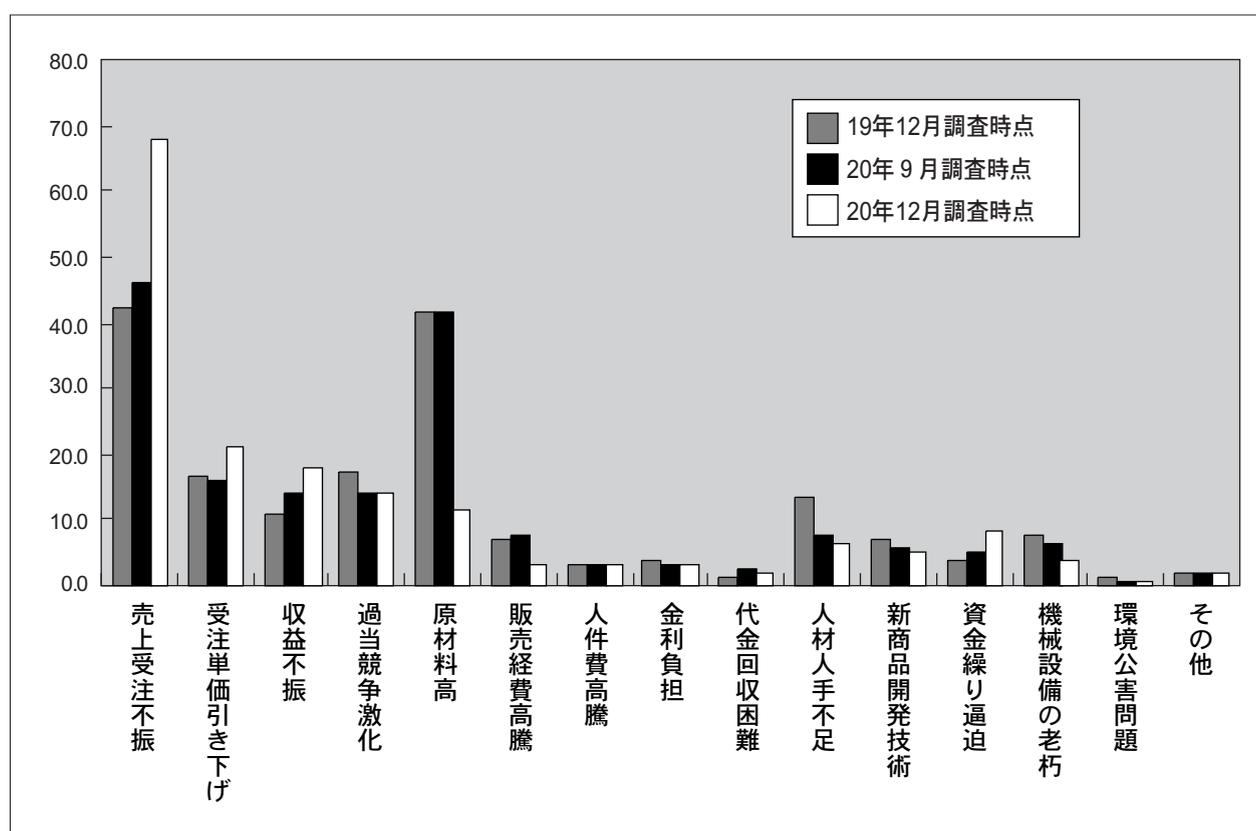


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について10～12月の採用は全産業で減少となった。21年4～6月期は20.5と予測しているが、例年同期の二分の一以下となり、雇用も厳しい状況となっている。今期、製造業の採用実績は18%と前期に比べても12.6ポイント減少している。

## IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	19年12月 (前年)	20年9月 (前回)	20年12月 (今回)	20年12月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	42.3	46.4	67.9	(71.9)	(64.2)	21.5
受注単価引き下げ	16.5	15.8	21.0	(19.0)	(22.8)	5.2
収益不振	10.9	14.0	18.1	(15.0)	(21.0)	4.1
過当競争激化	17.0	14.0	14.3	(9.8)	(18.5)	0.3
原材料高	41.3	41.5	11.4	(11.8)	(11.1)	-30.1
販売経費高騰	7.3	8.0	3.5	(3.3)	(3.7)	-4.5
人件費高騰	3.3	3.2	3.2	(2.0)	(4.3)	0.0
金利負担	3.8	2.9	2.9	(2.0)	(3.7)	0.0
代金回収困難	1.0	2.6	1.9	(0.7)	(3.1)	-0.7
人材人手不足	13.7	7.4	6.7	(3.9)	(9.3)	-0.7
新商品開発技術	7.1	5.7	5.4	(10.5)	(0.6)	-0.3
資金繰り逼迫	3.8	5.4	8.6	(7.8)	(9.3)	3.2
機械設備の老朽	7.8	6.3	4.1	(2.6)	(5.6)	-2.2
環境公害問題	1.0	0.6	0.6	(0.7)	(0.6)	0.0
その他	1.8	2.0	1.9	(1.3)	(2.5)	-0.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振67.9%(前期比+21.5ポイント)、②受注単価引下げ21.0%(前期比+5.2ポイント)③収益不振(前期比+4.1ポイント)の順になっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業が11.4%と前期比30.1ポイント減少している。□前回調査では製造業で原材料高を問題とする企業は50%であったが今回調査では、11.8%に減少している。非製造業も大幅に減少している。
- (3) 業種別では、機械工業が売上受注不振との回答を92.1%と最も高く、高岡銅器が85.7%の順となっている。□